

令和4年12月22日
参考資料
(県政・小田原記者クラブ同時送付)

「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」（知事現場訪問）南足柄市及び小田原市の地域子育て支援拠点施設を知事が訪問しました！

市町村では、公共施設など様々な場所に地域子育て支援拠点を設置し、子育て支援を行っています。知事は、令和4年12月22日に南足柄市と小田原市の地域子育て支援拠点施設を訪問し、子育て支援の現場を視察するとともに、子育て支援員等との意見交換を行いました。

はじめに、南足柄市で今年4月にオープンした子育て支援拠点施設「にこっと」を視察しました。木のぬくもりを感じる明るい施設は、「地域子育て支援拠点」「子育て世代包括支援センター」「子ども家庭総合支援拠点」の3つの機能を併せ持っています。乳幼児健診や発達支援相談など子育てに関する市の窓口が集約されており、妊娠期から子どもの中学卒業までを切れ目なく支援しています。



「にこっと」内にある子育て支援センター（地域子育て支援拠点）は、子育て中の方、これから親になる方が交流を深め、安心してお子さんと遊んだり、子育てアドバイザーに相談したりできる場所です。広々としたスペースに、月齢に合わせた色々な遊具があり、特に雨天の日などには、多くの親子で賑わっているとのことでした。



続いて、「にこっと」で子育て支援に携わっている市職員や子育て支援センター支援員の皆さんと意見交換を行いました。親子が気軽に訪れる子育て支援センターと市の支援窓口が隣接していることで、相談などの利用も増えてきたとのことで、お母さんやお子さんの気持ちに寄り添って、互いに連携しながら切れ目のない支援を行っていききたい等のお話を伺いました。



次に、小田原市に移動し、マロニエ子育て支援センターを訪れました。マロニエ子育て支援センターは小田原市に4箇所ある地域子育て支援拠点の一つで、川東タウンセンターマロニエ内にあります。土日はご家族やお父さんの利用も多いとのことです。コロナ禍以降、「オンライン相談デー」「オンライン赤ちゃんデー」など、対面での利用がしづらい方のニーズにも対応しています。



最後に、マロニエ子育て支援センターを訪れている親子の皆さんと交流しました。コロナ禍で、子育てにおいても制約が多い中で、子育て支援センターは、親子で自由に過ごしたり、お母さんやお父さんのリフレッシュや仲間づくりができる貴重な場となっている等、ご意見を直接伺うことができました。県としてこれからも子育て支援にしっかりと取り組んでいきます。



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課
副課長 山崎 電話 045-285-0805
企画グループ 大山 電話 045-210-4666

